

平成28年度図書館評価（取組内容）

湖南省立図書館

図書館評価について

公立図書館が、何を目的としてどのような運営をし、結果はどうであったかといった情報を、市民に分かりやすい形で公開し、図書館の望ましい姿や課題を市民と共有して、運営の改善を図ることは、大切なことです。平成 20（2008）年の図書館法改正により、公立図書館は運営の状況について評価を行い、その結果に基づき運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならないことになりました。また、運営状況に関する情報を積極的に提供するよう努めることが求められています。

湖南市立図書館では、他の市の図書館評価や、湖南市立図書館の事業方針を参考に、評価項目及び指標を決定し、それをもとに、図書館で内部評価を行い、図書館協議会の皆さんに外部評価をいただき図書館評価を作成しました。これまで、湖南市立図書館では、利用状況や事業展開等、運営状況の報告を公開してきましたが、これだけではなく図書館評価という形で、図書館の運営がどうであったのか結果を公表します。

《参考資料》

●『図書館法』（平成 20 年 6 月 11 日法律第 59 号 改正）

第 7 条の 3（運営の状況に関する評価等）

図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

第 7 条の 4（運営の状況に関する情報の提供）

図書館は、当該図書館の図書館奉仕に関する地域住民その他関係者の理解を深めるとともに、それらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該図書館の運営状況に関する情報を積極的に提供しなければならない。

●『公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準』（平成 13 年 7 月 18 日文科科学省告示）

（3）図書館サービスの計画的実施及び自己評価等

① 公立図書館は、そのサービスの水準の向上を図り、当該図書館の目的及び社会的使命を達成するため、その図書館サービスについて、各々適切な「指標」を選定するとともに、これらに係る「数値目標」を設定し、その達成に向けて計画的にこれを行うよう努めなければならない。

② 公立図書館は、各年度の図書館サービスの状況について、図書館協議会の協力を得つつ、前項の「数値目標」の達成状況等に関し自ら点検及び評価を行うとともに、その結果を住民に公表するよう努めなければならない。

平成 28 年度 湖南省立図書館サービス状況点検・評価 評価指標・取り組み内容

内容	評価指標		H28 年度目標値	H27 年度実績	H26 年度実績	H25 年度実績	(備考)
				(H27 年度目標値)	(H26 年度目標値)		
(1)図書資料等の整備と整理 および利用促進	①	購入図書冊数 (冊)	10,183	11,069 (11,575)	11,575 (11,570)	11,568	
	②	蔵書数 (冊)	352,000	358,404 (352,000)	352,786 (351,000)	350,913	
	③	年間貸出冊数 (冊)	445,969	440,624 (450,700)	445,687 (469,000)	468,737	
	④	実利用 (貸出) 者数 (人)	11,208	10,929 (11,107)	11,009 (11,500)	11,491	
	⑤	※新規登録者数 (人) [累積登録者数]	1,300 [35,862]	1,310 [34,562] (1,300)	1,024 [33,046] (1,370)	1,352 [31,842]	
	⑥	実質登録率 (%)	20.3	20.1 (20.3)	20.1 (20.9)	20.9	
	⑦	※市民一人当たりの貸出冊数 (冊)	8.2	8.0 (9.1)	8.1 (9.09)	8.5	
	⑧	予約件数 (件)	19,775	19,338 (18,600)	18,544 (18,600)	18,198	
			・うちweb予約件数 (件)	9,039	8,862 (8,700)	8,694 (8,700)	8,473
(2)利用に応じたサービスの充実	⑨	※児童一人当たりの児童書の貸出冊数 (冊)	20.5	20.3 (22.0)	19.9 (21.7)	21.1	
	⑩	※おはなし会参加人数 (人)	1,100	1,217 (1,000)	995 (1,000)	978	

	⑪	学校協力貸出冊数（冊）	1,530	1,506 (1,130)	1,120 (1,200)	1,017	
	⑫	ボランティア人数（人）	80	79 (82)	81 (82)	81	
	⑬	特設コーナー設置件数（件）	130	129 (130)	126 (130)	128	

※の項目は総合計画や教育振興基本計画により目標値が既に定まっている項目。

(1) 図書資料等の整備と整理および利用促進

サービス内容	H28年度取り組み内容	サービス指標	H28年度目標値	H27年度実績	H26年度実績
<p>新鮮かつ魅力ある蔵書内容維持のため、資料を更新し計画的な除籍を進めます。行政資料、郷土資料の収集、保存を強化します。貸出・予約サービスを重視し、利用しやすく市民に親しまれるカウンター対応に努めます。移動図書館車の活用を行うとともに、なるべくいずれかの図書</p>	<p>新刊書を計画的に購入し、劣化した図書は買い替え、計画的な除籍を推進します。行政資料、郷土資料の収集、保存を強化します。カウンター対応を重視し、読書案内・レファレンス【注1】対応などのスキルの向上と継承をはかります。集会行事を見直し、図書館に親しんでもらい、効果的な情報発信をできる企画を行います。市民の高齢化に伴い、高齢者への図書館利用PRを強化するとともに、居場所としての図書館利用のPRをし、利用促進を図ります。図書館ホームページをスマートフォンからでも見やすくするなど、コンピュータを活用した広報を強化します。まちづくりセンターへの返却サービスを</p>	①購入図書冊数（冊）	10,183	11,069	11,575
		②蔵書数（冊）	352,000	358,404	352,786
		③年間貸出冊数（冊）	445,969	440,624	445,687
		④実利用（貸出）者数（人）	11,208	10,929	11,009
		⑤新規登録者数（人） [累積登録者数]	1,300 [35,862]	1,310	1,024
		⑥実質登録率（%）	20.3	20.1	20.1
		⑦市民一人当たりの貸出冊数（冊）	8.2	8.0	8.1
		⑧予約件数（件）	19,775	19,338	18,544
		・うち web 予約件数（件）	9,039	8,862	8,694
			<p>*実利用(貸出)者数 1年間に1冊以上本を借りた人の人数。同じ利用者が1年間に何回利用しても1人と数えられる。 *実質登録率 湖南省の人口の内、1年間に図書館で1冊以上本を借りた人の割合。</p>		

館が利用できる ようにします。	促進します。				
--------------------	--------	--	--	--	--

内 部 評 価	○全体評価	外 部 評 価	○全体評価
	○課題		○図書館協議会からの意見

I：目標値に対して達成率 90%以上。

II：前年度より低下していないが、達成率は 70～90%。

III：前年度より低下していて達成率が 70～90%。

IV：前年度より低下していて達成率 70%未満。

(2) 利用に応じたサービスの充実

サービス内容	H28 年度取り組み内容	サービス指標	H28 年度 目標値	H27 年度 実績	H26 年度 実績
①児童サービスの充実 「湖南省子ども読書活動推進計画」に基づいて、乳幼児から児童における図書館の利用推進を図ります。 子どもの成長に資する児童図書の収集と提供を行いながら、おはなし会や人形劇、ブックトーク【注2】など、本に親しむ機会づく	・児童書を収集、提供するとともに、季節やテーマで特設コーナーを設置し、おはなし会や人形劇、ポイントラリーなど、本に親しむ機会づくりに取り組みます。 ・健康政策課のブックスタート事業に協力し、乳幼児健診時の保護者への啓発やおはなし会のPRにより、親子で本に親しむ機会づくりに取り	⑨児童一人当たりの児童書の貸出冊数(冊)	20.5	20.3	19.94
		⑩おはなし会参加人数(人)	1,100	1,217	995

<p>りに努めます。</p> <p>母子保健担当部局と連携して、ブックスタート事業を支援するとともに、乳幼児健診等の機会を活用した幼児期からの「はじめての本」との出会い、親子のふれあい、図書館の児童奉仕活動への誘引、啓発などを進めます。</p>	<p>組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園や保育園へ、読み聞かせ用の絵本のセット貸出を行います。 				
<p>②学校および学校図書館との連携</p> <p>学校教育課及び学校図書館と連携し、移動図書館車の巡回や司書が授業へ出向くブックトークを実施します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育課と連携して、学校図書館への協力貸出、学校でのブックトーク、先生や学校図書館ボランティア等のための講座への講師派遣などを実施します。 ・移動図書館の巡回による児童への貸出を行います。 ・夏休み向けのブックリストを学校を通して全児童に配布します。 	<p>①学校協力貸出冊数（冊）</p>	<p>1,530</p>	<p>1,506</p>	<p>1,120</p>
<p>③高齢者、障がい者、多文化共生サービスの充実、高齢者が利用しやすい資料の収集と提供に努めます。</p> <p>福祉担当部局や社会福祉協議会と連携し、視覚障がい者への資料提供に努め、図書館における障がい者サービスの支援を進めます。</p> <p>朗読ボランティアによる「声の広報こなん」等の録音資料の作成と提供については、対面朗読の機会提供など、代読サービスの支援を図ります。</p> <p>また、点字資料作成に対する点訳サークルへの支援も引き続き継続します。</p> <p>人権擁護課と連携し外国人市民への資料提</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き大活字本の収集・提供を行います。 ・視覚障がい者への「声の広報こなん」などの録音資料提供の継続に取り組みます。 ・南米語の洋書資料の収集・提供をはかります。 				

<p>供に努め、多文化共生サービスの支援を進めます。</p>					
<p>④集会行事等の推進 地域資料の収集・集積・発信を図るため、地域の文化活動やまちづくり活動、地域的话题を積極的に情報収集し、情報提供に努めます。また、魅力ある講座や講演会・展示などを通じて、活字にならない情報の提供を行うことで、地域のまちづくりに貢献するとともに、豊かな市民文化を醸成する企画事業の展開に取り組みます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所の他課とも連携し、地域・郷土に関する展示や講演会を開催します。 ・まちづくり協議会の活動に役立つ資料を収集・提供する。 				
<p>⑤学習の成果を生かしたボランティアとの協働 図書館の公共的な活動の理解者として図書館ボランティアを位置づけ、各人の知識・技能を生かし、その学習活動の場として朗読奉仕活動、おはなし会などの集会行事等を協働で実施することによって、市民参画の事業推進を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアに協働しておはなし会や人形劇を開催します。 ・市民主催のビブリオバトル【注3】を継続して支援し、市民への広がり支援します。 ・図書リサイクルの準備など図書館業務のサポーター協力の依頼をします。 	<p>⑫ボランティア人数(人)</p>	<p>80</p>	<p>79</p>	<p>81</p>
<p>⑥庁内各部署との連携 学校教育課、生涯学習課、人権擁護課、健康政策課、子育て支援課及び議会事務局など各部署との連携を深めるとともに、さらにレファレンスサービスの充実を図り、より市民に</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習課と連携し、「親子プレイステーション」を図書館で開催し、絵本の紹介などを行います。 ・議会事務局と連携し、議員に対するレファレンスサービスをPRします。 				

役立つ図書館となるよう努めます。	・必要に応じて、市役所他課に対するレファレンス・サービスを実施します。				
⑦地域住民の課題に対応したサービスの充実 市民の要望を踏まえ、日常生活における課題解決に向けた活動を支援するため、子育て、教育、若者の自立支援、健康、医療、福祉、法律・司法手続等に関する資料や情報の整理・提供に努めます。また、地域の実情を踏まえ、就職、転職、起業、職業能力開発その他日常の仕事等に関する情報収集及び提供に努めます。	・暮らしに役立つ資料を積極的に収集します。季節や市民の関心に応じた特設コーナーの設置や、書架のサインを増設、目的別のブックリストの作成など、資料と利用者を結びつける工夫をします。 ・新しく湖南省市にいられた方に、地域創生推進課を通してPRチラシや利用案内を配布します。 ・パンフレットなど、出版されない資料の収集・提供に力を入れます。 ・郷土資料コーナーの利用PRのため、表紙みせでテーマ展示を行います。	⑬特設コーナー 設置件数（件）	130	129	126
内 部 評 価	○全体評価 ○課題	外部評価			

評価基準 A：計画通りに実施でき、成果があった。
B：課題はあるものの、概ね計画どおり実施できた。
C：不十分な点や課題が多く、計画通りに実施できなかった。

なお、数値目標のあるものは、以下のとおり。

評価基準 A：達成率 90%以上。
B：達成率 70%～90%未満。
C：達成率 70%未満

※脚注

【注1】レファレンス：利用者の求めに応じて、図書館職員が調査・研究に必要な本の紹介や資料の検索・提供の手助けなどを行うこと。

【注2】ブックトーク：ひとつのテーマに沿って、何冊かの本をいろいろな角度から紹介し、本の楽しさを知ってもらうための手法。

【注3】ビブリオバトル：「知的書評合戦」とも呼ばれる。各自が紹介したい本を1冊持ち寄り、5分間で紹介、一番読みたいと思った本を参加者全員が投票し「チャンプ本」を決める本の紹介コミュニケーションゲーム。